

2022年10月30日(日)午前10時30分

《降誕前第8主日》

前奏			※本庄教会の礼拝では 聖書は『新共同訳』を 讃美歌は『讃美歌21』を 使用しています。
招詞	詩編24編9～10節から		
頌栄	24 (たたえよ、主の民)		
主の祈り	*下記をご覧ください。		
讃美	361※1、3のみ (「この世はみな」) **		
交説	『交説詩編』1：1～6 (9頁、上段「いかに幸いなことか…」～)		
信仰告白	使徒信条 (下記をご参照ください)		
聖書	新約 箴言 30：7～9 (旧約 1030頁)		
	新約 マタイによる福音書 6：11 (新約 9頁)		
祈り			
讃美	16※1, 5のみ (われらの主こそは) **		
説教	『日毎の糧を今日与えてください』 正田義也牧師		
祈り			
讃美	404※1, 2のみ (あまつましみず) **		
献金			
頌栄	27 (父・子・聖霊の)		
派遣・祝祷			
報告			
後奏	**讃美歌は短めとなります。		

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を來たらせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

私は天地の造り ^{ぬし}主、全能の父なる神を信ず。
私はその ^{ひと}独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に ^{のぼ}昇り、全能の父なる神の右に ^{さば}坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審めたまはん。

私は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン。